

厚生労働省北海道労働局発表
令和4年1月20日

担当
厚生労働省
北海道労働局労働基準部安全課
課長 八反田 健
副主任産業安全専門官 鍋岡 順子
代表電話：011-709-2311（内線 3552）
直通電話：011-788-6327

報道関係者 各位

令和3年の死亡労働災害による被災者は57人に

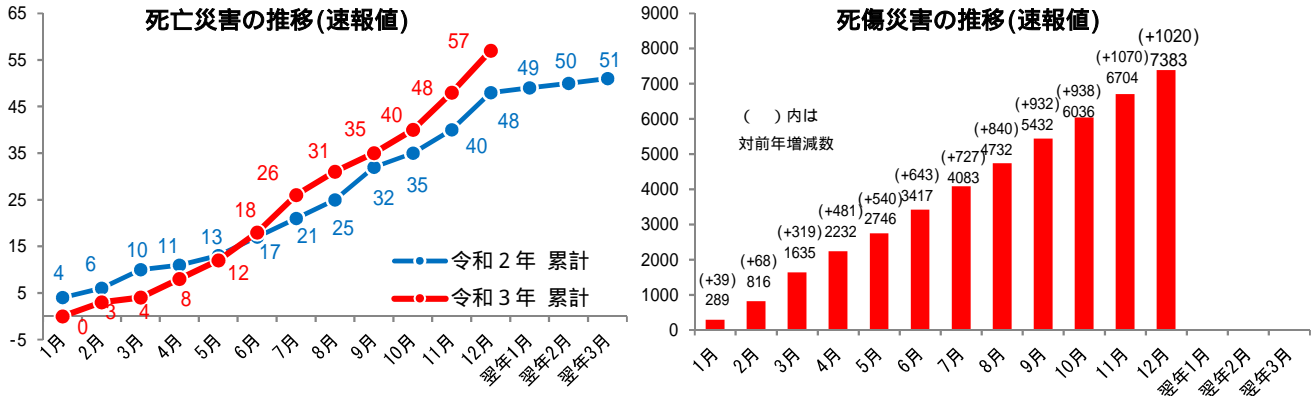
～令和3年の北海道内の労働災害発生状況(令和3年12月末現在速報値)～

北海道労働局(局長 ^{うえだくに}上田国土)は、令和3年の労働災害発生状況(令和3年12月末現在速報値)について取りまとめたので、その内容を公表します。

令和3年の死亡労働災害は前年同期比で約2割増となっています。災害の占める割合は建設業、小売業が大きく、草刈機など動力機械災害が増えています。また、12月は雪道での交通事故が2件発生しており、引き続き冬季におけるスリップ事故や除雪作業に関連した災害、転倒災害といった冬季特有の災害に対する労働災害防止対策をする必要があります。

1 労働災害の月別推移

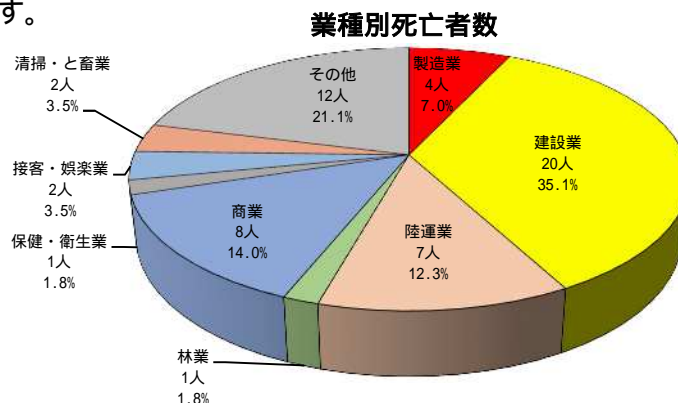
令和3年12月末現在の道内の労働災害による死亡者数は57人で、前年同期と比べて9人増加しており、休業4日以上^{（休業4日以上）}の死傷者数は7,383人で、前年同期と比べて16.0%増加しています。



2 死亡災害発生状況

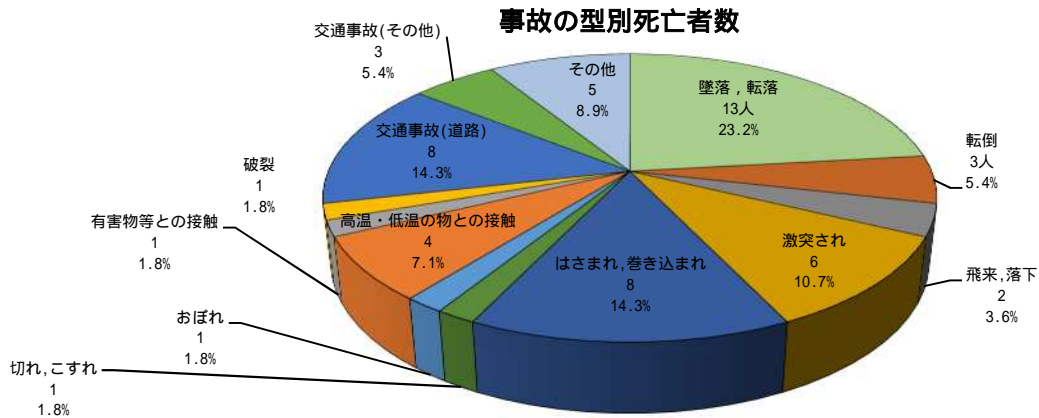
(1) 業種別の状況【資料番号 1、2】

業種別では、建設業において20人と死亡災害の35.1%を占めており、次いで商業8人、14.0%です。



(2) 事故の型別の状況【資料番号3】

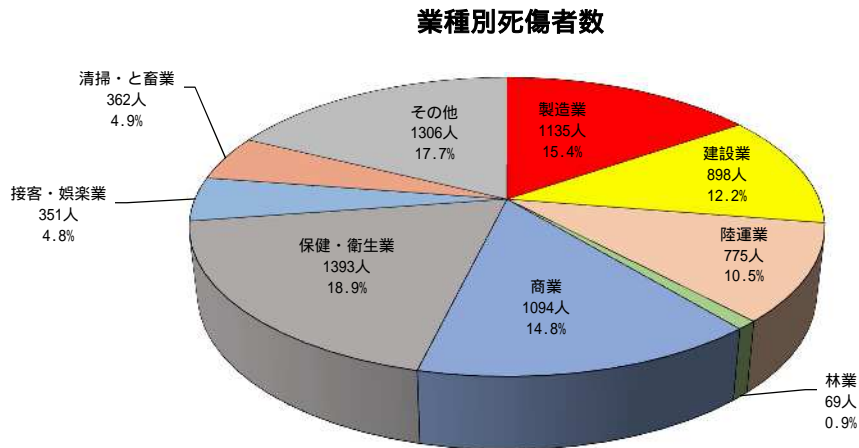
事故の型別では、「墜落,転落」が13人、「はさまれ,巻き込まれ」及び「交通事故(道路)」が各8人、「激突され」が6人となっています。



3 休業4日以上死傷災害発生状況

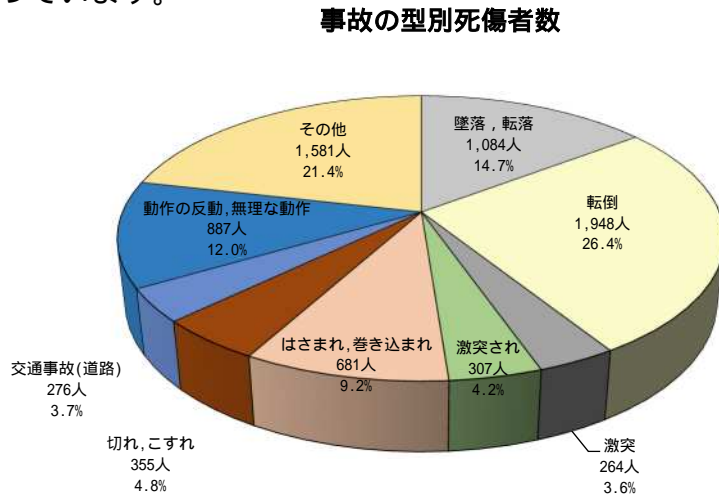
(1) 業種別の状況【資料番号4】

業種別では保健・衛生業が1,393人と最も多く、製造業が1,135人、商業が1,094人、建設業が898人、陸上貨物運送事業が775人の順となっています。



(2) 事故の型別の状況【資料番号5】

事故の型別では、「転倒」が1,948人で最も多く、「墜落,転落」が1,084人、「動作の反動,無理な動作」が887人、「はさまれ,巻き込まれ」が681人、「切れ,こすれ」が335人の順となっています。



4 北海道労働局の対応

北海道における労働災害防止のために、災害多発業種に対して業種ごとの災害特性に応じた重点的な災害防止対策を推進するほか、転倒災害等の業種をまたいで多発している災害についても災害態様に応じた災害防止対策を推進しています。

(主な取組の推進)

「北海道冬季ゼロ災運動」を実施します。

北海道では冬季において、凍結等による転倒、自動車のスリップや吹雪等による視界不良時の交通事故、除雪作業に伴う墜落災害、屋内での内燃機関、練炭、ジェットヒーター等の使用による一酸化炭素中毒が発生しています。

このことから、北海道労働局では、冬季に発生する労働災害のリスクを低減させるため「北海道冬季ゼロ災運動」を実施し、これに基づいた対策を講じた上で作業を行うことにより、冬季特有の労働災害を減少させることを目指します。

【取組期間：令和3年12月1日～令和4年3月31日】

○ 職場における新型コロナウイルス感染症対策実施のため「取組の5つのポイント」を確認しましょう！

厚生労働省では、職場における新型コロナウイルス感染症対策の基本的事項である、取組の5つのポイントと感染防止対策の実践例を示し、事業場の実態に即した、実行可能な感染拡大防止対策の推進を呼びかけています。

参考：リーフレットのダウンロードはこちらです。

厚生労働省ホームページ内に移動します。

URL <https://www.mhlw.go.jp/content/11302000/000736900.pdf>



【添付資料】

- 資料番号1 令和3年における死亡災害発生状況
- 資料番号2 令和3年における死亡災害発生状況(その他の事業の内訳)
- 資料番号3 令和3年 業種別・事故の型別・起因物別死亡災害発生状況
- 資料番号4 令和3年 業種別労働災害発生状況(その1、その2)
- 資料番号5 令和3年 業種別・事故の型別・起因物別死傷災害発生状況
- 資料番号6 令和3年 署別・業種別死亡災害発生状況
- 資料番号7 令和3年 死亡労働災害の概要(令和3年12月把握分)
- 資料番号8 令和3年 有害物質による急性中毒等発生状況

労働災害統計表について

各年の災害統計は、翌年3月末までに把握した12月末までの休業4日以上災害情報を集計して、統計値を確定しています。

令和3年の災害統計は、令和4年3月31日以降に確定することとなります。

令和3年における死亡災害発生状況 [速報]

令和3年1月1日～令和3年12月31日

北海道労働局

業種	令和3年		令和2年同期		対前年比較			
	死亡者数	構成比 (%)	死亡者数	構成比 (%)	全件数		交通事故を除く	
					増減数	増減率	増減数	増減率
全産業	57 (8)	100.0	48 (18)	100.0	9	18.8	19	63.3
製造業	4 ()	7.0	6 (1)	12.5	-2	-33.3	-1	-20.0
鉱業	1 ()	1.8	1 ()	2.1				
建設業	20 (1)	35.1	14 (4)	29.2	6	42.9	9	90.0
交通運輸事業	1 ()	1.8	3 (2)	6.3	-2	-66.7		
陸上貨物運送事業	7 (3)	12.3	6 (4)	12.5	1	16.7	2	100.0
港湾運送業	()		()			-		-
林業	1 ()	1.8	3 ()	6.3	-2	-66.7	-2	-66.7
その他の事業	23 (4)	40.4	15 (7)	31.3	8	53.3	11	137.5

(注) 1. 本統計は死亡災害報告に基づき、上記期間について集計したものである。

2. 死亡者数欄の()内は、交通事故による死亡者数で、内数である。

3. 本年・昨年ともに集計期間に把握した速報値である。

令和3年における死亡災害発生状況(その他の事業の内訳)

令和3年1月1日～令和3年12月31日

北海道労働局

業 種	令 和 3 年		令 和 2 年 同 期		対 前 年 比 較			
	死亡者数	構成比 (%)	死亡者数	構成比 (%)	全件数		交通事故を除く	
					増減数	増減率	増減数	増減率
その他の事業	23 (4)	100.0	15 (7)	100.0	8	53.3	11	137.5
小売業	5 (3)	21.7	2 (1)	13.3	3	150.0	1	100.0
医療保健業	1 (1)	4.3	()		1	-		-
社会福祉施設	()		()			-		-
清掃・と畜業(ビルメン テナンス業を除く)	1 ()	4.3	1 (1)	6.7			1	-
ビルメンテナンス業	1 ()	4.3	1 ()	6.7				
ゴルフ場の事業	()		()			-		-
警備業	1 ()	4.3	1 (1)	6.7			1	-
農業・畜産業	4 ()	17.4	2 (1)	13.3	2	100.0	3	300.0
水産業	3 ()	13.0	3 ()	20.0				
その他	7 ()	30.4	5 (3)	33.3	2	40.0	5	250.0

(注) 1. 本統計は死亡災害報告に基づき、上記期間について集計したものである。

2. 死亡者数欄の()内は、交通事故による死亡者数で、内数である。

3. 本年・昨年ともに集計期間に把握した速報値である。

業種別労働災害発生状況 その1

令和3年1月1日～令和3年12月31日

北海道労働局

業種別	区分	令和3年			令和2年			対前年		業種割合 (%)	令和2年確定		
		死亡	休業	合計	死亡	休業	合計	増減数	増減率		死亡	休業	合計
全産業合計		57	7,326	7,383	48	6,315	6,363	1,020	16.0	100.0	51	7,684	7,735
製造業	製造業	4	1,131	1,135	6	1,044	1,050	85	8.1	15.4	6	1,138	1,144
	食品	1	603	604	3	557	560	44	7.9	8.2	3	606	609
	木材・家具	1	107	108	1	88	89	19	21.3	1.5	1	90	91
	紙・印刷		18	18		25	25	-7	-28.0	0.2		29	29
	窯業・土石	1	46	47		39	39	8	20.5	0.6		42	42
	金属・機械		167	167	1	171	172	-5	-2.9	2.3	1	189	190
	その他	1	190	191	1	164	165	26	15.8	2.6	1	182	183
鉱業	鉱山		2	2				2		0.0			
	土石採取業	1	21	22	1	20	21	1	4.8	0.3	1	22	23
建設業	建設業	20	878	898	14	807	821	77	9.4	12.2	14	889	903
	土木工事業	11	322	333	6	291	297	36	12.1	4.5	6	314	320
	建築工事業	6	355	361	6	292	298	63	21.1	4.9	6	322	328
	木造建築業	1	107	108		127	127	-19	-15.0	1.5		144	144
	その他	2	94	96	2	97	99	-3	-3.0	1.3	2	109	111
交通運輸事業	1	210	211	3	181	184	27	14.7	2.9	3	211	214	
陸上貨物運送事業	陸上貨物運送事業	7	768	775	6	742	748	27	3.6	10.5	6	823	829
	道路貨物運送	7	709	716	4	696	700	16	2.3	9.7	4	771	775
	陸上貨物取扱		59	59	2	46	48	11	22.9	0.8	2	52	54
港湾運送業		20	20		16	16	4	25.0	0.3		18	18	
林業	1	68	69	3	74	77	-8	-10.4	0.9	4	77	81	
水産業	3	109	112	3	126	129	-17	-13.2	1.5	3	141	144	
商業	8	1,086	1,094	4	971	975	119	12.2	14.8	4	1,126	1,130	
清掃・と畜業	2	360	362	2	407	409	-47	-11.5	4.9	3	454	457	
上記以外の事業	10	2,673	2,683	6	1,927	1,933	750	38.8	36.3	7	2,785	2,792	

(注) 本年・昨年ともに集計期間に把握した速報値である。

第13次労働災害防止計画進捗状況

12月末同月比

	死亡災害			死傷災害		
	被災者数	増減数	増減率	被災者数	増減数	増減率
基準年(平成29年)	72			5,922		
4年目(令和3年)	57	-15	-20.8%	7,383	1,461	24.7%

第13次労働災害防止計画の目標
 平成29年と比較して令和4年までに…
 ・死亡者数を20%以上減少させる。
 ・死傷者数を5%以上減少させる。

業種別労働災害発生状況 その2

令和3年1月1日～令和3年12月31日

北海道労働局

「上記以外の事業」の内訳

業種別	令和3年			令和2年			対前年		業種割合 (%)	令和2年確定		
	死亡	休業	合計	死亡	休業	合計	増減数	増減率		死亡	休業	合計
農業	3	99	102		86	86	16	18.6	1.4		100	100
畜産業	1	252	253	2	274	276	-23	-8.3	3.4	2	306	308
金融・広告業		42	42		31	31	11	35.5	0.6		41	41
映画・演劇業		4	4		4	4			0.1		4	4
通信業		148	148		150	150	-2	-1.3	2.0		160	160
教育・研究業	1	69	70		43	43	27	62.8	0.9		61	61
保健衛生業	1	1,392	1,393		770	770	623	80.9	18.9		1,470	1,470
接客娯楽業	2	349	351		281	281	70	24.9	4.8	1	323	324
その他の事業	2	318	320	4	288	292	28	9.6	4.3	4	320	324
合計	10	2,673	2,683	6	1,927	1,933	750	38.8	36.3	7	2,785	2,792

「第三次産業」の内訳

業種別	令和3年			令和2年			対前年		業種割合 (%)	令和2年確定		
	死亡	休業	合計	死亡	休業	合計	増減数	増減率		死亡	休業	合計
商業	8	1,086	1,094	4	971	975	119	12.2	14.8	4	1,126	1,130
うち 小売業	5	850	855	2	792	794	61	7.7	11.6	2	910	912
金融・広告業		42	42		31	31	11	35.5	0.6		41	41
映画・演劇業		4	4		4	4			0.1		4	4
通信業		148	148		150	150	-2	-1.3	2.0		160	160
教育・研究業	1	69	70		43	43	27	62.8	0.9		61	61
保健・衛生業	1	1,392	1,393		770	770	623	80.9	18.9		1,470	1,470
うち 社会福祉施設		912	912		472	472	440	93.2	12.4		771	771
うち 医療保健業	1	468	469		280	280	189	67.5	6.4		677	677
接客・娯楽業	2	349	351		281	281	70	24.9	4.8	1	323	324
うち 飲食店		164	164		124	124	40	32.3	2.2	1	142	143
うち 旅館業	1	97	98		72	72	26	36.1	1.3		89	89
うち ゴルフ場		43	43		37	37	6	16.2	0.6		38	38
清掃・と畜業	2	360	362	2	407	409	-47	-11.5	4.9	3	454	457
その他の事業	2	318	320	4	288	292	28	9.6	4.3	4	320	324
うち 警備業	1	79	80	1	87	88	-8	-9.1	1.1	1	91	92
合計	16	3,768	3,784	10	2,945	2,955	829	28.1	51.3	12	3,959	3,971

令和3年 業種別・事故の型別・起因物別死傷災害発生状況

令和3年1月1日～令和3年12月31日

北海道労働局

事故の型番号	業種番号		1		2		3		4		5		6-2	7-2	起因物番号	起因物																															
	業	種	製	業	鉱	業	土	業	建	業	道	業	陸	業		港	業	林	業	水	業	そ	業	11	12	13	14	15	16	17	21	22	23	31	32	33	34	35	36	37	39	41	51	52	61	71	91
事故の型	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	計	原	動	木	建	金	一	車	動	動	乗	圧	化	溶	炉	電	人	用	そ	仮	危	材	荷	自	そ	起	分						
1 墜落・転落	135		10	278	205	9	6	4	4	6	427			1084				23		8	2	11	242	11					2	2	282	18	394		7	22	59		1								
2 転倒	301	1	3	104	150	74	16	4	9	22	1,264			1948			1	8		5	1		35	33				5	37	81	33	936		26	32	650	10	55									
3 激突	36		1	32	37	10	5	2	1	15	125			264				11		7		3	33	22				1	12	25	25	87		1	15	13	3	6									
4 飛来・落下	64	1	1	79	39	1	2	2	13	5	79			286			5	10	4	16	1	9	18	4				1	16	45	20	12		65	40	18	1	1									
5 崩壊・倒壊	15			28	12		2	1	1		19			78			1						1						8	10	3	12		21	12	10											
6 激突され	48			46	30	3	3	3	16	10	148			307			5	21	3	6	3	15	32	8	4				30	28	6	14		14	8	98	5	7									
7 はさまれ・巻き込まれ	229		4	103	58	7	5	3	5	24	243			681	1	9	18	30	37	134	4	32	143	21	1		3	1		50	35	23	29		34	25	48	3									
8 切れ・こすれ	97			75	3	2			12	5	161			355			64		25	87		3	3	1				1	103	15	9	8		27	1	5	2	1									
9 踏抜き				6							3			9															1	1		2		5													
10 おぼれ			1								1			2																			1		1												
11 高温・低温の物との接触	42			15	5	1			1		57			121						5		1	4	1	1	1	4	5	1	2	18	27	4	5	3		38	1									
12 有害物等との接触	6			7	2						8			24							2						1					1		17	1		2										
13 感電				2										2														1									1										
14 爆発	2										5			7													1							6													
15 破裂					1						1			2						1												1															
16 火災											2			2																			2														
17 交通事故(道路)	14			26	51	34	8		2		141			276				2		1		1	59	208					1									4									
18 交通事故(その他)											3	3		6										6																							
19 動作の反動・無理な動作	91		2	57	113	27	11	1	4	15	566			887			1	2	2	6								1	16	32	17	133		17	97	51	38	444									
90 その他	55			40	10	43	1		1	6	886			1042																1	1	2					15	979	44								
99 分類不能																																															
合計	1135	2	22	898	716	211	59	20	69	112	4139			7383	1	9	95	107	71	278	11	75	595	320	6	1	9	6	13	278	573	184	1633	30	222	252	1013	1042	559								

令和3年 署別・業種別死亡災害発生状況

令和3年1月1日～令和3年12月31日

北海道労働局

業種別	1号		2号		3号	4号		5号		6-2号	7-2号	その他 の事業	合計
	製造業	うち木材 製品製造業	鉱山保安 法適用事業	土石採取 業	建設業	道路貨物 運送業	その他の 運輸業	陸上貨物 取扱業	港湾運送 業	林業	水産業		
署別													
札幌中央	1				3	1						7	12
札幌東					3	1	1					2	7
函館					1							1	2
小樽													
岩見沢												2	2
旭川	2	1			2	1							5
帯広						1						2	3
滝川													
北見					3	2							5
室蘭					1							2	3
釧路						1							1
名寄					1						3	1	5
留萌													
稚内				1	3								4
浦河					1							1	2
苫小牧	1				2					1		1	5
倶知安												1	1
計	4	1		1	20	7	1			1	3	20	57

死亡労働災害の概要(令和3年12月把握分)

発生年	発生日	時刻	業種	規模	事故の型	起因物	災害の状況
3	10	11時台	卸売業	10人以上 29人	転倒	起 因 物 な し	被災者は開店準備作業中に転倒し、床に頭部を打ち付け、救急搬送され治療を受けたがその後死亡したものの。
3	11	14時台	建築工事業	10人未 満	墜落 、 転落	3 7 1 1 1	被災者は解体工事現場において、建物の天井に近い部分をガス溶断作業に従事していたが、脚立付近で倒れているところを発見されたものの。
3	12	16時台	畜産業	30人 以上 49人	崩壊 、 倒壊	7 1 1 1	被災者は、牧場敷地内にて水道管を新設するために機械掘削(ドラグ・ショベル)で掘削した側溝(幅70cm、深さ1m35cm、長さ32m30cm、土留めなし)内に立ち入って作業を行っていたところ、崩壊した土砂に埋まった状態で発見されたもの。
3	12	13時台	窯業土石製品製造業	10人 以上 29人	は さ ま れ 、 巻 き 込 ま れ	動 力 運 搬 機 4	被災者はベルトコンベヤー(長さ約9m、幅約0.8m)のヘッドプリーとスナッププリーとの間に右腕を挟まれ、意識不明の状態であるところを通りかかった同僚に発見されたが、その後、死亡したものの。
3	12	15時台	建築工事業	10人 以上 29人	激 突 さ れ	動 力 運 搬 機 2 2 2	被災者は休憩のため解体作業場所から現場事務所に向かう途中、本件工事の発注者の労働者が運転するフォークリフトと接触し轢かれたもの。フォークリフトは専用アタッチメントでフレコンバッグを4つ吊っており、前の視界が制限された状況であったもの。
3	12	12時台	小売業	10人未 満	交 通 事 故 (道 路)	2 3 1	被災者は社用車で得意先から別の得意先に向かっていたところ、対向車線にはみだし、対向してきたトラックと衝突したものの。
3	12	9時台	小売業	30人 以上 49人	墜 落 、 転 落	3 7 1	被災者は、倉庫内に置かれた物置の上に保管されてある部品を取り、当該物置に立掛けたはしご(アルミ製伸縮式)を下りていたところ、高さ2.2mの踏み機に右足をかけた際、はしごの下端が滑って倒れ、アスファルトの地面に墜落したものの。
3	12	12時台	道路貨物運送業	10人 以上 29人	激 突 さ れ	動 力 運 搬 機 2 2 1	被災者は、私有林の林道上で木材グラブ機のアタッチメントを修理中、林道上を後退してきた貨物自動車(14トントラック)に激突されたもの。
3	12	11時台	小売業	10人 以上 29人	交 通 事 故 (道 路)	2 3 1	被災者は、納車先に自動車で移動中、対向車線にはみ出し、対向車線を走行していた貨物自動車に衝突したものの。

令和3年 有害物質による急性中毒等発生状況

北海道労働局 12 月末現在

	発生月	時刻	業種	規模	災害の状況
1	2	9時台	食品製造業	50人以上 100人未満	<p>二酸化炭素発生装置(石灰石とコークスを1日当たり90t燃焼させる装置)の消火及び同一系統内設備の水抜き作業が行われていた。水抜きの吸気口を確保するため、ガス洗浄装置(不純物除去)のマンホール(550mm)を開けたところ、当該装置内に残存していた一酸化炭素が噴き出し、これを吸引した被災者が、頭痛、めまい等の症状を訴えたもの。</p> <p>[一酸化炭素中毒:被災者1人(休業4日以上)]</p>
2	4	16時台	一般飲食店	10人未満	<p>被災者は、営業準備のため、厨房にて換気扇を稼働しないまま炭を焚いていたところ、めまい、吐き気、頭痛の症状を訴えた。その後3時間程更衣室で休憩したが、自力で動けなくなったため救急車を要請した。</p> <p>[一酸化炭素中毒:被災者1人(休業4日以上)]</p>
3	4	19時台	畜産業	10人以上 30人未満	<p>牛舎内にある牛乳処理室において、ミルカー洗浄のため、被災者は次亜塩素酸を含有するアルカリ性洗剤を所定のタンクから計量容器に注いだところ、計量容器内に残留していた酸性洗剤と混ざり発生した塩素ガスを吸入してしまい、被災したものの。</p> <p>[塩素ガス中毒:被災者1人(休業4日未満)]</p>
4	5	10時台	教育研究業	100人以上	<p>被災者は、洗濯のため構内の洗濯室に行ったところ、洗濯機の排水溝から発生した異常な臭気を吸入してしまい、被災したものの。</p> <p>その後、7月(6)に同様な臭気が発生したため、臭気について分析したところ、キシレンと特定できたことから、本件災害発生時に吸入した臭気についてもキシレンとして推定したものの。</p> <p>[有機溶剤中毒:被災者1人(休業4日以上1名)]</p>
5	6	21時台	その他の建設業	10人未満	<p>マンホール蓋の接触面のパッキンを交換する作業を行っていたところ、使用していた送気マスクの空気に高炉内部を冷却するための窒素が混入し、酸素欠乏症を発症した。災害発生直後に計測した送気マスクの供給空気の酸素濃度は16%であった。</p> <p>[酸素欠乏症:被災者2人(休業4日以上1名、不休1名)]</p>
6	7	11時台	教育研究業	100人以上	<p>被災者は、玄関付近を通ったところ、異常な臭気を吸入してしまい、被災したものの。発生した臭気について分析したところ、キシレンであることが判明したものの。</p> <p>[有機溶剤中毒:被災者1人(休業4日未満)]</p>

令和3年 有害物質による急性中毒等発生状況

発生月	時刻	業種	規模	災害の状況	
7	9	18時台	その他の建設業 30人以上 50人未満	<p>木造の個人住宅新築工事現場において、塗装業者が通気の悪い屋内車庫内にガソリンエンジン式エアコンプレッサーを置いて、そのエアーを用いて外壁の吹付け塗装工事を行っていたところ、その排気ガスが被災者らの作業していた屋内に充満したことにより、屋内電気設備取付工事を行っていた被災者ら2名が一酸化炭素中毒となったもの。</p> <p style="text-align: center;">[一酸化炭素中毒: 被災者2人(休業4日以上)]</p>	
8	9	16時台	小売業 100人以上	<p>研修施設にてエンジン故障診断の研修中、試験用エンジンを、不良状態を再現した状態で稼働させていたところ、エンジンの排気ダクトが未装着であったため、不完全燃焼で一酸化炭素が発生し、5名が被災したもの。被災者5名のうち、1名が講師としてエンジンの稼働を行い、各店舗所属の4名が研修を受講していた。被災者5名はその場で頭痛等の症状を訴え、帰宅後に各自で受診した。</p> <p style="text-align: center;">[一酸化炭素中毒: 被災者5人(休業4日未満1名、不休4名)]</p>	
9	11	10時台	土木工事業 10人以上 30人未満	<p>被災者はプレハブの物置内で、電動工具用先端工具を発電機能兼用溶接機を用いて、電動サンダーやアーク溶接を行い製作していた。</p> <p>当初開いていた物置のドアが閉まっていたため、被災者の様子を見に行った者が、仰向けで倒れている被災者を発見。被災者は救急車で搬送されたが、一酸化炭素中毒により死亡したもの。</p> <p style="text-align: center;">[一酸化炭素中毒: 被災者1人(死亡)]</p>	
合計	発生件数		9	内訳	一酸化炭素中毒 5 件 酸素欠乏症 1 件 硫化水素中毒 0 件 その他の中毒 3 件
	被災者数		15	内訳	死亡 1 人 休業4日以上 6 人 休業4日未満 3 人 不休 5 人